

55

物理階梯		
375.9-142, 他	明治7, 9 (1875, 76)	片山淳吉訳・編
パーカー、クッケンボスなどの物理書を参考に編集された物理教科書。明治期の小学校物理教科書の中で最も広く使われた。上中下の3巻本。		

- ◆ 本書の成立事情は巻頭の「題言」で明らかにされている。「此書ハパークル氏ノ原本ヲ主トシ之ヲ譯スルト雖ドモ、嘗テ先輩ノ言ヲ聞クニ、米国学士クエッケンボス氏ノ格物書ハ区分宣キヲ得テ条緒明晰ナリト。因リテ物性順序ノ如キハ今一ニ、クエッケンボス氏ノ書ニ従ヒ、其原本中其文辞約ニ過ギテ隔靴ノ憾ヲ免レザルモノハ傍ラガノット氏ノ物理書ヲ抄訳シ、似テ増加スル所アリ。」

ここにあげられている3種の書は以下のものであろうと推定されている。

- ① パークル氏ノ原本 R.G.Parker “First Lessons in Natural Philosophy”
- ② クエッケンボス氏ノ格物書 G.P. Quackenbos “A Natural Philosophy”
- ③ ガノット氏ノ物理書 A.Ganot “Elements de Physique”

ただし③はフランス語の原本ではなく、その英訳書が用いられたと考えられている。

当館は②と③を所蔵している。

- ◆ 当館は明治7年刊行の『官版物理階梯』を1部(375.9-240 下巻欠)、明治9年刊行の『改正増補物理階梯』を6部(375.9-142, 375.9-142-2, 375.9-239, 420-71, K720-7, K720-8 内、完本4部)所蔵している。

56

A Natural Philosophy		
A E-178, G420-11	1866, 1859	G.P.Quackenbos著
明治初年に最も広く使われた中等程度の物理の教科書。明治期の物理教科書『物理階梯』や『物理全志』等の編集に使われた。		

- ◆ 本書は慶応義塾や大学南校(東京大学の前身)で物理学(当時は窮理学といった)のテキストとして用いられた。その他、英語を教える学校ではほとんど例外なく、この本をテキストにしていた。本書は物理の教科書であるが、科学全般の入門書とみなされ、英語学習の教科書でもあった。

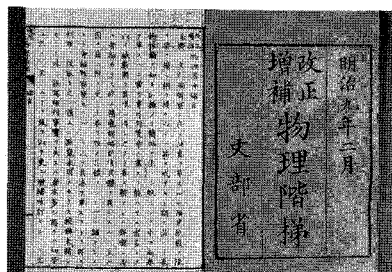
著者のクッケンボス(G.P.Quackenbos 1826-1881)は教育者である。自然科学だけでなく、歴史、数学、文法などの教育書を数多く著している。当館は本書の他にクッケンボスの著作を5点所蔵している。請求記号のみ紹介する。

歴史: AE-177, G253-11

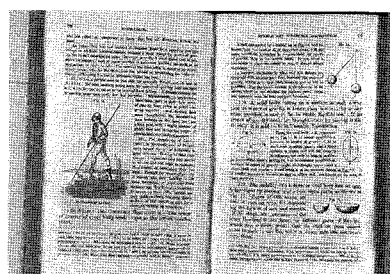
数学: AE-176, AE-179

文法: G836-14

<参考資料> 『日本教科書大系 近代編』第22巻(375.9-118) 『日本科学技術史大系』第8巻(502.1-4) 『明治前日本物理化学史』(420.2-3)



55 物理階梯



56 自然哲学